



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7446 URL http://t-kagaku.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)工藤 幸弘
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理グループ長 (氏名)築館 宏治 (TEL)0172 (33)8131
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	14,490	4.3	118	36.0	184	74.5	78	448.8
23年9月期第3四半期	13,888	△5.0	87	△60.1	105	△55.6	14	△83.1

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 83百万円(148.2%) 23年9月期第3四半期 33百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年9月期第3四半期	16	32	—	—
23年9月期第3四半期	2	97	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
24年9月期第3四半期	9,640		4,194		43.5	876	30	
23年9月期	9,183		4,148		45.2	866	78	

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 4,194百万円 23年9月期 4,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年9月期	—	—	0	00	8	00
24年9月期	—	—	0	00		
24年9月期(予想)					15	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日~平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	20,400	8.9	241	79.1	303	87.4	110	350.7	22	98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	4,800,000株	23年9月期	4,800,000株
24年9月期3Q	13,578株	23年9月期	13,481株
24年9月期3Q	4,786,496株	23年9月期3Q	4,792,163株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興特需などによる生産活動の回復が見られたものの、欧州金融危機や中国の経済鈍化などの影響及び為替相場の円高長期化により、国内景気動向はまだまだ予断を許さない状況下にありました。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境変化に対するスピーディーな体質改革を図り、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同四半期と比べ売上高は、144億90百万円と6億2百万円（4.3%）の増収、営業利益は、1億18百万円と31百万円（36.0%）の増益、経常利益は、貸倒引当金戻入額46百万円を営業外収益に計上したため、1億84百万円と78百万円（74.5%）の増益、四半期純利益は、78百万円と63百万円（448.8%）の増益となりました。

各セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(化学工業薬品)

半導体液晶関連企業の生産調整で減産傾向にありましたが、前年同四半期には震災があったため、化学工業薬品は前年同四半期を上回りました。また、震災復興等の影響で同関連機器についても前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、全体で83億3百万円と6億81百万円（8.9%）の増収、セグメント利益(売上総利益)は8億55百万円と80百万円（10.3%）の増益となりました。

(臨床検査試薬)

各種医療機関での共同入札などの影響を受け、取り巻く環境は非常に厳しい状況で推移しましたが、臨床検査試薬は前年同四半期を上回りました。しかし、同関連機器は前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で45億87百万円と1億18百万円（△2.5%）の減収、セグメント利益(売上総利益)は5億10百万円と62百万円（△10.9%）の減益となりました。

(食品添加物)

原料不足による生産調整やデフレ影響による消費低迷など厳しい環境でありましたが、食品添加物は前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、12億54百万円と57百万円（4.8%）の増収、セグメント利益(売上総利益)は1億52百万円と7百万円（5.2%）の増益となりました。

(その他)

価格競争の激化や過剰在庫等により厳しい環境の影響を受け、その他では前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は3億44百万円と17百万円（△4.9%）の減収、セグメント利益(売上総利益)は39百万円と2百万円（6.0%）の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、4億56百万円増加し、96億40百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、4億11百万円増加し、54億45百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、45百万円増加し、41億94百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の増加の主な原因は、四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により現金及び預金が増加したことによるものであります。

(負債)

負債の増加の主な原因は、四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な原因は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第3四半期まで計画どおり推移していることから、平成23年11月14日に公表した平成24年9月期の通期予想につきましては、変更ありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812,786	1,413,464
受取手形及び売掛金	4,236,851	3,936,056
商品	502,991	606,330
繰延税金資産	18,712	2,677
その他	118,736	111,558
貸倒引当金	△43,840	△3,758
流動資産合計	5,646,238	6,066,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	481,405	460,554
土地	1,317,199	1,317,199
リース資産（純額）	101,116	119,762
その他（純額）	222,294	250,962
有形固定資産合計	2,122,014	2,148,478
無形固定資産		
のれん	653	—
その他	10,384	12,371
無形固定資産合計	11,038	12,371
投資その他の資産		
投資有価証券	647,397	647,437
リース投資資産	342,182	285,206
その他	452,707	503,031
貸倒引当金	△38,323	△22,806
投資その他の資産合計	1,403,964	1,412,868
固定資産合計	3,537,017	3,573,718
資産合計	9,183,256	9,640,048
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,207,839	4,626,062
リース債務	111,783	117,004
未払法人税等	48,583	42,786
賞与引当金	30,500	—
その他	88,419	156,309
流動負債合計	4,487,125	4,942,162
固定負債		
リース債務	416,390	374,404
繰延税金負債	24,825	17,866
退職給付引当金	15,576	23,041

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
役員退職慰労引当金	61,257	62,571
その他	29,212	25,636
固定負債合計	547,263	503,520
負債合計	5,034,389	5,445,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,416,403	2,456,243
自己株式	△6,557	△6,597
株主資本合計	4,111,345	4,151,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,521	43,218
その他の包括利益累計額合計	37,521	43,218
純資産合計	4,148,867	4,194,364
負債純資産合計	9,183,256	9,640,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	13,888,459	14,490,614
売上原価	12,357,644	12,932,154
売上総利益	1,530,814	1,558,460
販売費及び一般管理費	1,443,578	1,439,792
営業利益	87,235	118,668
営業外収益		
受取利息	2,483	3,303
受取配当金	8,172	8,064
貸倒引当金戻入額	—	46,389
その他	11,661	11,627
営業外収益合計	22,317	69,384
営業外費用		
支払利息	93	102
持分法による投資損失	3,301	2,534
その他	484	988
営業外費用合計	3,878	3,624
経常利益	105,674	184,428
特別利益		
固定資産売却益	533	—
投資有価証券売却益	2,856	—
役員退職慰労引当金戻入額	4,000	—
その他	268	—
特別利益合計	7,657	—
特別損失		
固定資産圧縮損	2,728	—
固定資産除却損	12	119
投資有価証券評価損	14,099	2,365
投資事業組合運用損	5,070	2,919
その他	694	—
特別損失合計	22,605	5,405
税金等調整前四半期純利益	90,726	179,022
法人税、住民税及び事業税	51,658	89,990
法人税等調整額	24,829	10,900
法人税等合計	76,488	100,890
少数株主損益調整前四半期純利益	14,238	78,131
四半期純利益	14,238	78,131

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,238	78,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,538	5,697
その他の包括利益合計	19,538	5,697
四半期包括利益	33,776	83,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,776	83,829
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品添加物	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,622,792	4,705,969	1,196,949	362,746	13,888,459	—	13,888,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,622,792	4,705,969	1,196,949	362,746	13,888,459	—	13,888,459
セグメント利益	775,164	572,724	145,395	37,530	1,530,814	—	1,530,814

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品添加物	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,303,857	4,587,554	1,254,254	344,948	14,490,614	—	14,490,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,303,857	4,587,554	1,254,254	344,948	14,490,614	—	14,490,614
セグメント利益	855,351	510,414	152,906	39,788	1,558,460	—	1,558,460

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、前連結会計年度において「その他(食品添加物・農薬)」に含まれていた「食品添加物」について量的な重要性が増したため、「食品添加物」及び「その他」をそれぞれ区分掲記しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき組替えたものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。